

2012年3月期

決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

LECIP
GROUP

2012年 5月

▶ 1. 2012年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 2～P17

■ 2. 2013年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19～P21

■ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23～P32

■ 【ご参考資料】:P34～P42

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

全般概況

■ 前期比:増収  増益 

- ▶ バス市場向け製品の売上は減少したものの、LED関連製品、バッテリー式フォークリフト用充電器、PHS基地局用電源、プリント基板実装事業などの増加でカバーし、増収。

セグメント別業績の概況

➤ プラス要因

S&D事業

- 節電・省エネ対策需要の拡大を背景に、LED電源や蛍光灯型LED灯具が大幅増加。

産業機器事業

- バッテリー式フォークリフト用充電器、PHS基地局用電源などが好調推移。
- レシップ電子のプリント基板実装事業が大幅増加。

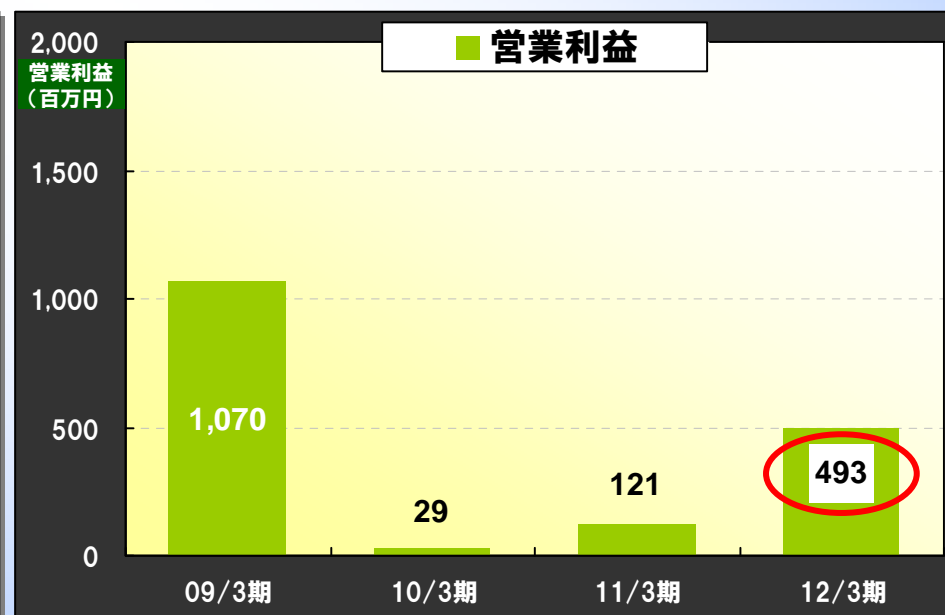
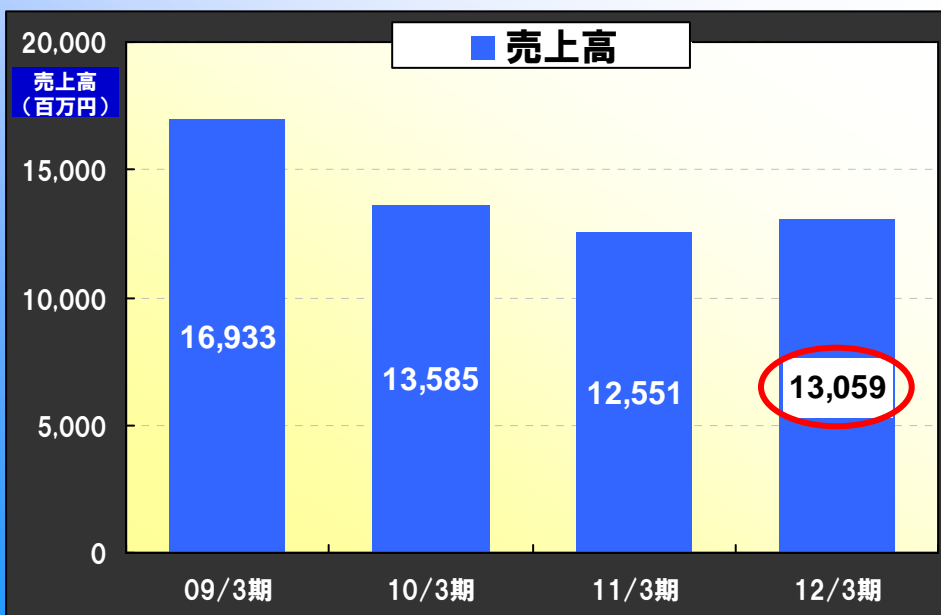
⚡ マイナス要因

輸送機器事業

- 主力のバス市場向け製品が、需要の端境期にあり、減少。

2012年3月期 連結業績の要約

【連結】 通期業績 (単位:百万円)	2011年3月期		2012年3月期				前期比 増減額 ④-①	前期比 増減率
	① 前期実績	構成比	② (11年5月) 当初発表 業績予想	③ (12年4月) 修正発表 業績予想	④ 実績	構成比		
売上高	12,551	100.0%	14,000	13,059	13,059	100.0%	+508	+4.1%
売上総利益	2,469	19.7%	—	—	3,192	24.4%	+722	+29.3%
営業利益	121	1.0%	150	493	493	3.8%	+372	+307.2%
経常利益	154	1.2%	160	514	514	3.9%	+359	+232.4%
当期純利益	46	0.4%	77	143	132	1.0%	+86	+183.5%

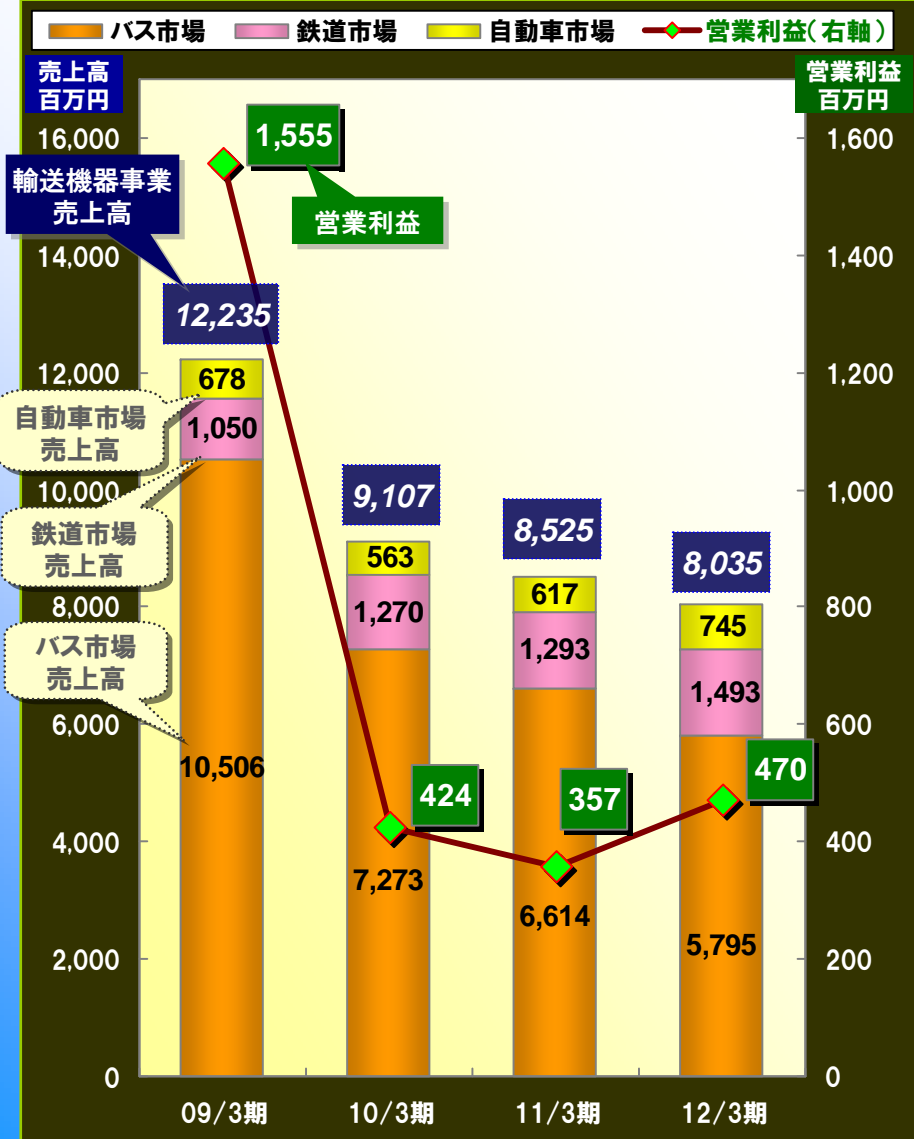


2012年3月期 セグメント別業績

売上高 (単位:百万円)	2011年3月期		2012年3月期			
	前期実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	8,525	67.9%	8,035	61.5%	▲489	▲5.7%
S&D事業	825	6.6%	1,183	9.1%	+357	+43.4%
産業機器事業	3,181	25.3%	3,796	29.1%	+615	+19.3%
その他事業	19	0.2%	44	0.3%	+25	+133.3%
連結売上高	12,551	100.0%	13,059	100.0%	+508	4.1%

営業利益 (単位:百万円)	2011年3月期		2012年3月期			
	前期実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
輸送機器事業	357	186.9%	470	82.3%	+113	+31.7%
S&D事業	▲230	▲120.7%	▲38	▲6.8%	+191	—
産業機器事業	64	33.7%	141	24.7%	+76	+118.8%
その他事業	0.1	0.1%	▲1	▲0.2%	▲1	—
計	191	100.0%	571	100.0%	+380	+198.9%
消去・全社	▲70	—	▲78	—	▲8	—
連結営業利益	121	1.0%	493	3.8%	+372	307.2%

▶ 輸送機器事業：売上高・営業利益の推移



▲ 売上高 : 前期比 ▼ ▲ 4億89百万円 ▲ 5.7%
▲ 営業利益 : 前期比 ▲ + 1億13百万円 + 31.7%

バス市場製品売上高

- 前期比: ▲8億18百万円(▲12.4%)
- ▶ 国内市場では、需要の端境期にあり、運賃箱やICカードシステムなどが大きく減少
 - ▶ 海外市場では、北米やシンガポールなどへの納入により、増加



鉄道市場製品売上高

- 前期比: +2億00百万円(+15.5%)
- ▶ 北陸地区へのICカードシステム納入
 - ▶ 鉄道車両用LED灯具などの増加



自動車市場製品売上高

- 前期比: +1億28百万円(+20.7%)
- ▶ トラック用LED灯具などの増加



バス用ICカードシステム（ICカード読み取り機能付運賃箱、ICカードリーダー・ライタ）

バス用ICカードシステムの売上推移



ICカード対応運賃箱 / ICカードリーダー・ライタ



- 2012年3月期は、札幌地区、新潟地区などへの納入を行ったものの、全体的には、需要の端境期。導入案件限られ、低調に推移
- これまでの実績を追い風に、引き続き、全国展開を推進

バス用運賃箱（磁気カード読み取り機能付運賃箱、自動循環式運賃箱）

磁気カード機能付、自動循環式運賃箱の売上推移



バス用運賃箱



- 2012年3月期は、前年にあった大口物件の一巡に加え、ICカードシステム同様、今期は、需要の端境期。更新需要案件限られ、低調に推移

- 将来的な布石として、着実に受注を進め、シェア拡大に成功

➡ 今後、ICカードシステム等、その他関連製品の拡販に繋げていく

車載用液晶表示器OBC(オン・バス・コンピュータ)



OBC(オン・バス・コンピュータ)

1	2	3	4	5
1230	1180	1070	1020	980
11	12	13	14	15
710	660	630	590	540
21	22	23	24	25
350	310			
31	32	33	34	35

乗り換えのご案内

次の『岐阜駅前』では、名古屋方面行および大垣方面行への乗り換えに便利です。

1	2	3	4
2030	1030	980	930
5	6	7	8
880	830	780	730
9	10	11	12
680			

↓ 四軒家
↓ 本地ヶ原
↓ 瀬戸駅前

【パソコンと同等の機能】
車載機器のシステム化、地上システムとのネットワーク化が可能。

● 2012年3月期は、前期比増加
引き続き、更なる拡大を図る

● OBCを活用した新たな展開を推進

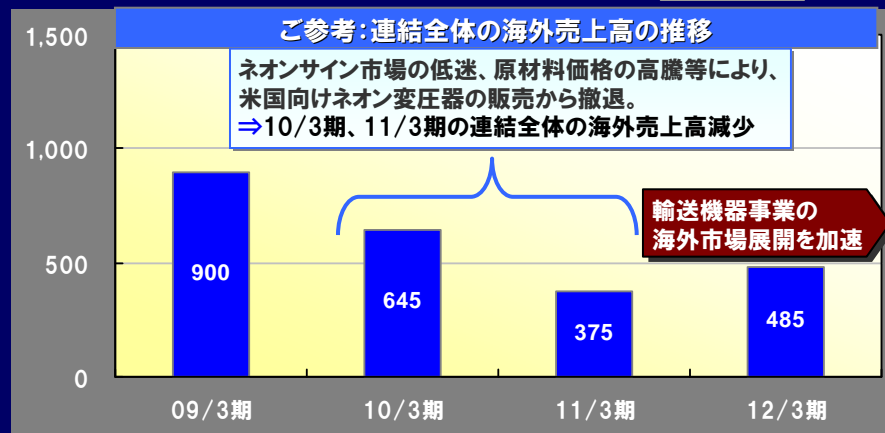
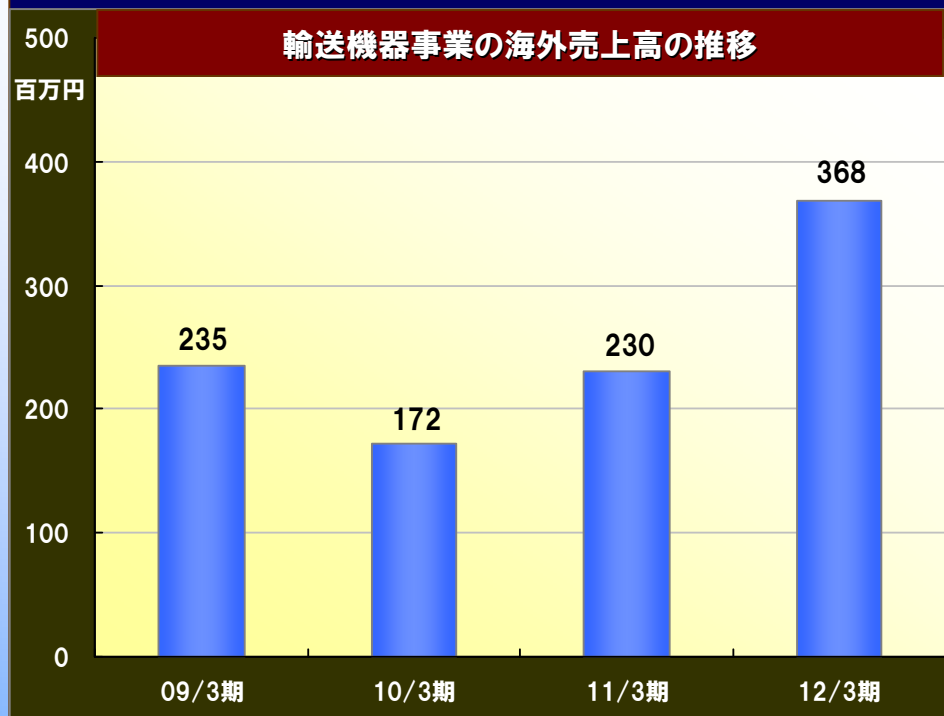
➡ 運行情報や乗換え・接続案内等、多くの有益な情報のリアルタイム配信を可能にする「乗客情報システム(PIS)」

➡ 路線バスにおいて、広告やニュース・天気予報などの表示を行うデジタルサイネージ「バスチャンネル」



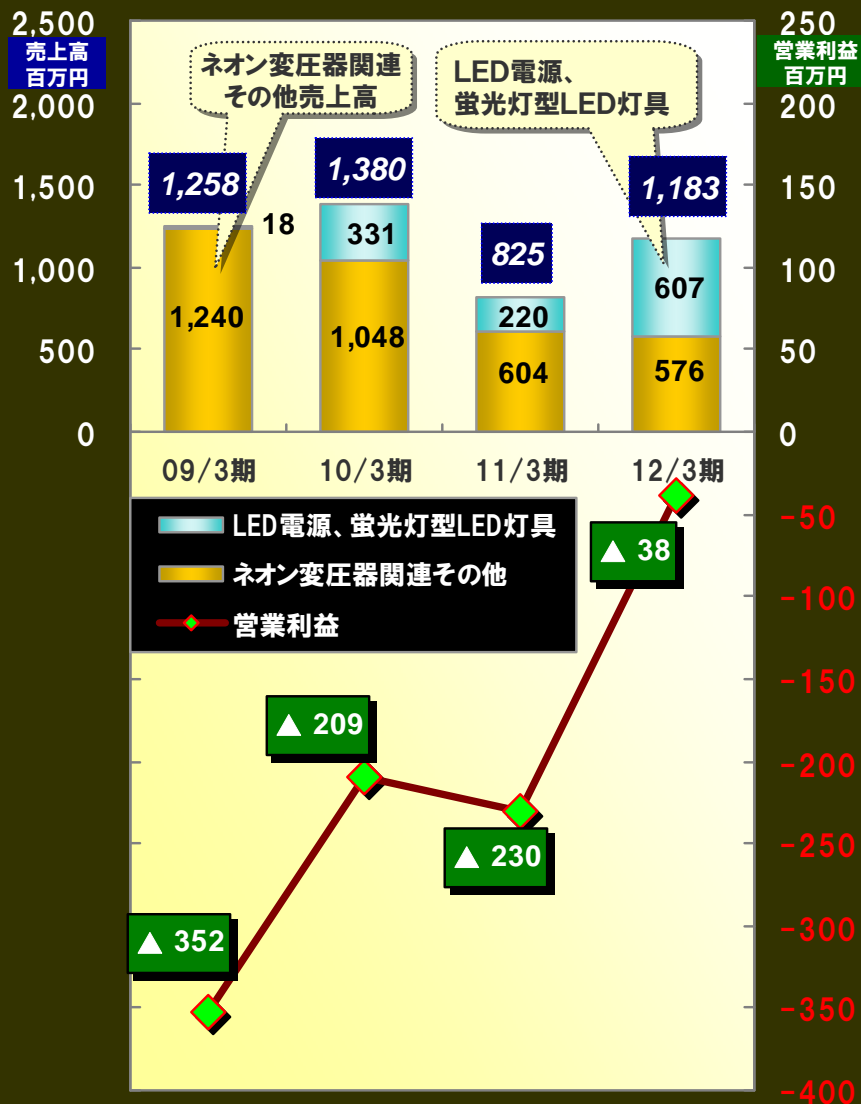
運賃・停留所表示のほか、
運行案内や、ニュース、CMなど
多彩な情報配信が可能。

輸送機器事業の海外売上高



- 輸送機器事業の海外売上高は、前期比大幅な拡大
- 北米市場で、バス用乗り継ぎ発券機や鉄道車両用LED灯具、シンガポール市場で、バス用LED式行先表示器や運賃箱などの納入進む
- 引き続き、海外市場におけるバス・鉄道市場向け製品の受注活動を一層強化

S&D事業:売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ +3億57百万円 + 43.4%
■ 営業利益: 前期比 ▲ +1億91百万円 -

LED電源、蛍光灯型LED灯具

前期比: +3億87百万円(2.8倍)

- ▶ LED電源(+2億10百万円)
- ▶ 蛍光灯型LED灯具(+1億76百万円)

- ▶ 節電・省エネ意識の高まりを背景とするLED照明市場の急速な拡大

- ▶ 店舗やオフィス等を中心に、導入加速



ネオン変圧器関連その他

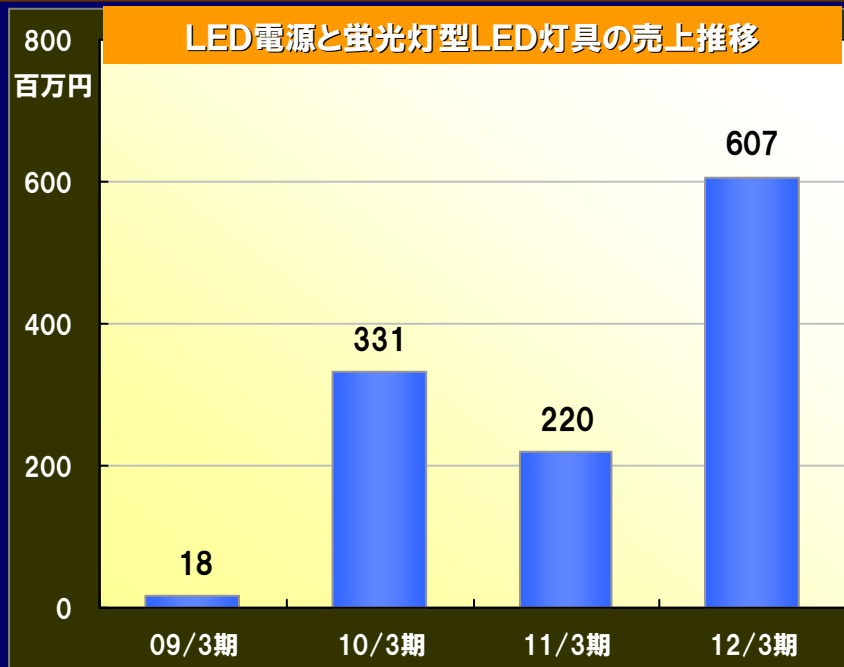
前期比: ▲28百万円(▲4.6%)

- ▶ ネオンサイン市場の需要低迷により、ネオン変圧器の減少続く

- ▶ 燃焼器具用変圧器等、その他の小型変圧器は持ち直す



LED電源と蛍光灯型LED灯具



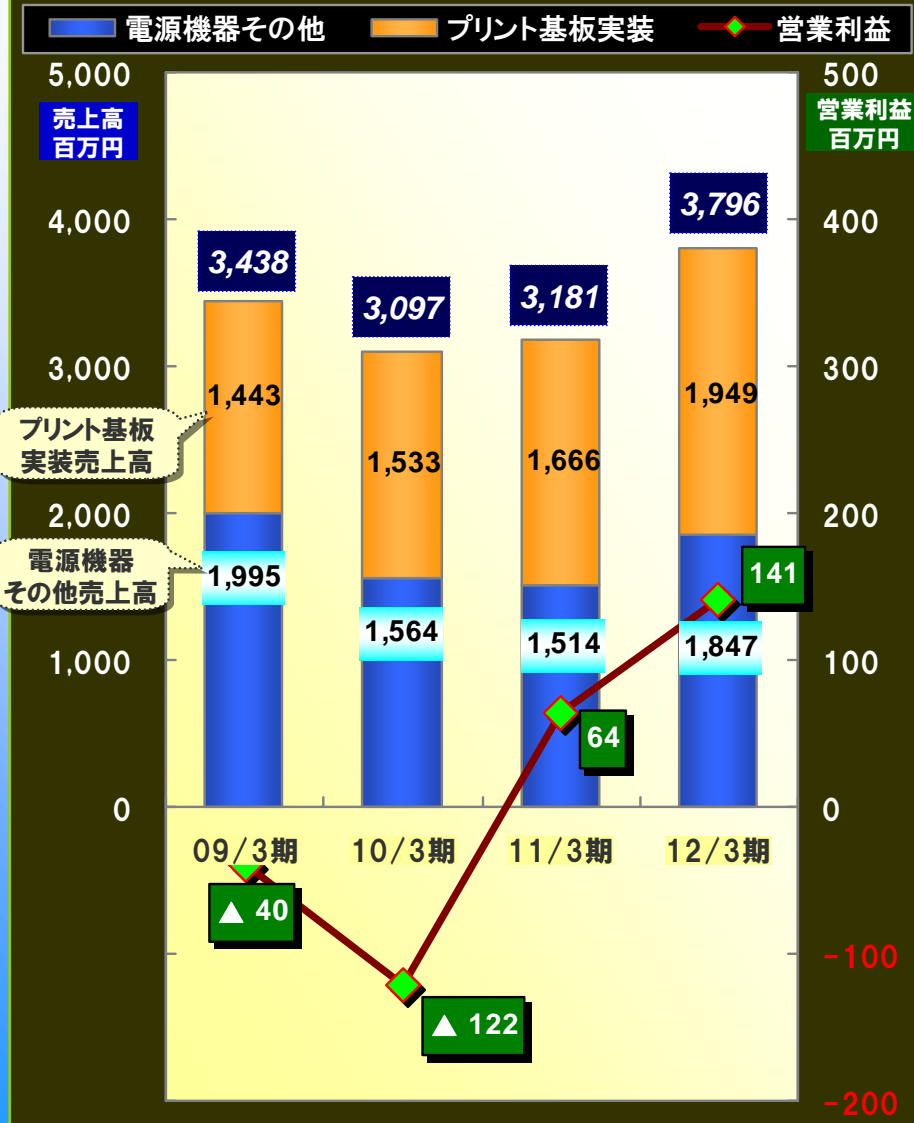
- LED照明市場の拡大により、LED電源と蛍光灯型LED灯具が、前期比大幅な拡大

➡ 【LED電源・蛍光灯型LED灯具の売上高】

・LED電源	11/3期	1億82百万円	→12/3期	3億93百万円	(前期比 2.2倍 +2億10百万円)
・蛍光灯型LED灯具	11/3期	37百万円	→12/3期	2億14百万円	(前期比 5.7倍 +1億76百万円)
合 計	11/3期	2億20百万円	→12/3期	6億07百万円	(前期比 2.8倍 +3億87百万円)

- 引き続き、拡販に注力し、LED関連ビジネスの拡大を図る

産業機器事業：売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ↗ +6億15百万円 +19.3%
■ 営業利益: 前期比 ↗ + 76百万円 2.2倍

フォークリフト用充電器

前期比: +1億21百万円(+16.8%)
 ▶ フォークリフト販売台数の回復



無停電電源装置・基地局用電源

前期比: +83百万円(+43.3%)
 ▶ CATV基地局向け減少するも、PHS基地局向けが大幅に増加



自家発電機用自動運転装置・始動用電源

前期比: +53百万円(+18.0%)
 ▶ 災害対策への意識の高まりを背景に、非常用電源の需要が増加

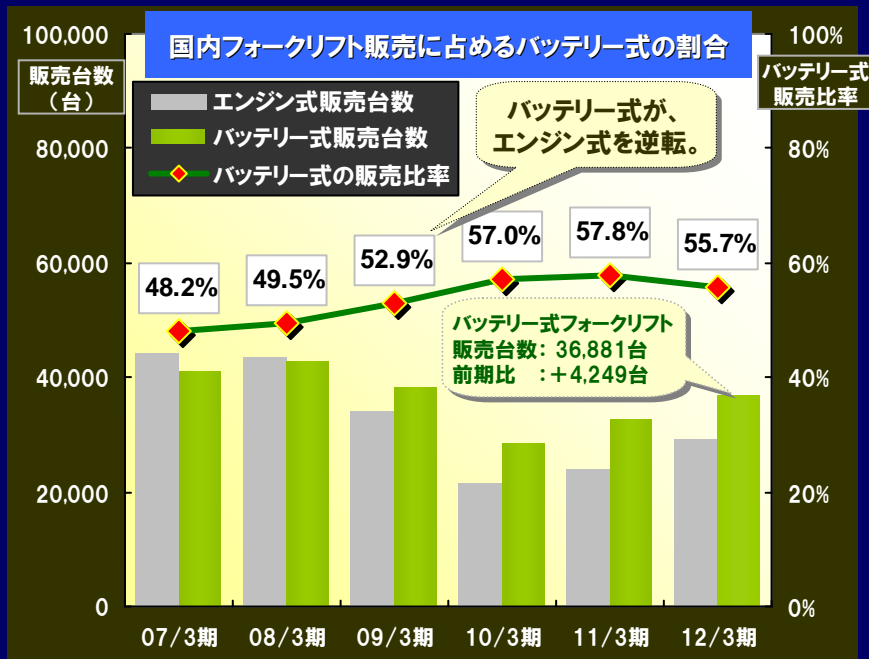
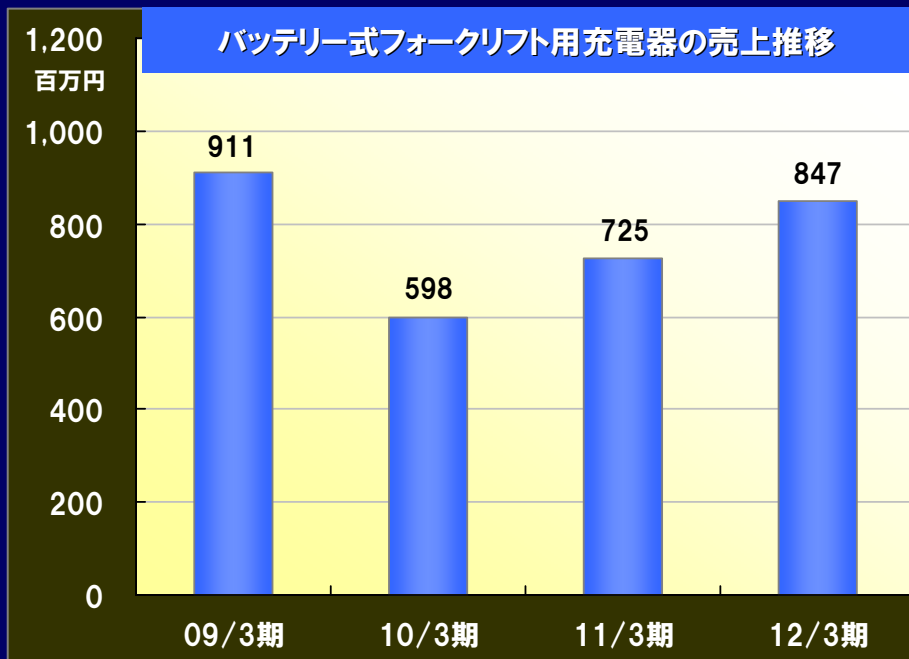


レシップ電子・プリント基板実装

前期比: +2億82百万円(+16.9%)
 ▶ 電子・産業機器向け (+2億64百万円)
 ▶ 自動車用電装品向け(+17百万円)



バッテリー式フォークリフト用充電器



- フォークリフト販売台数の回復基調続く

➡ バッテリー式フォークリフトの販売台数: 前期比+4,249台(+13.0%)

- 国内フォークリフト販売に占める比率は、バッテリー式が、エンジン式を上回って推移

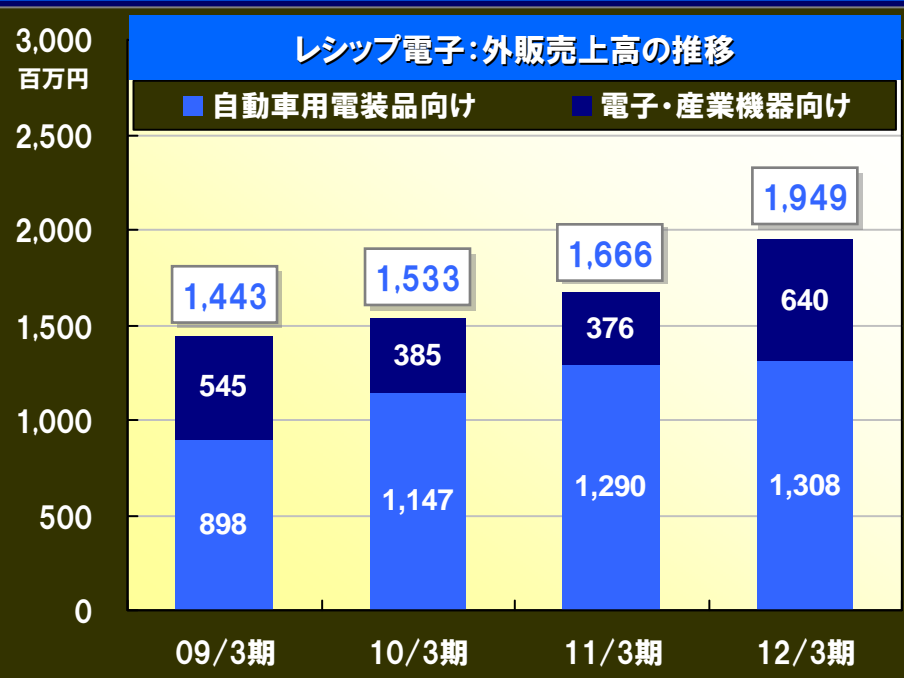
➡ バッテリー式フォークリフトの販売比率: 55.7%(12/3期)

- 今後も、環境対応を背景に、バッテリー式へのニーズが高まる見通し

➡ 次世代電池対応に向けた開発推進



レシップ電子・プリント基板実装事業



レシップ電子・プリント基板実装ライン



● 産業用電源向けが拡大。自動車用電装品向けも増加。

・電子・産業機器向け	前期比 +2億64百万円
・自動車用電装品向け	前期比 + 17百万円
合計	前期比 +2億82百万円

● 当社グループ内では重要な位置づけ

➡ 自社グループ内に基板実装ラインを有していることで、当社製品に使用される基板を安定的に調達できる強み
顧客の仕様にも柔軟かつスピーディに対応可能であり、高い信頼とご評価をいただく



連結損益の状況

【連結P/L】	2011年3月期		2012年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	12,551	100.0	13,059	100.0	+508	
売上原価	10,081	80.3	9,867	75.6	▲213	
売上総利益	2,469	19.7	3,192	24.4	+722	
販売管理費	2,348	18.7	2,698	20.7	+350	人件費: +301百万円、試験研究費: +14百万円、 運賃: +10百万円、港湾荷役費: +10百万円
営業利益	121	1.0	493	3.8	+372	
営業外収益	63	0.5	34	0.3	▲28	不動産賃貸料: ▲24百万円(持株会社体制移行に伴い、 前年の下期以降、売上高に計上)
営業外費用	30	0.2	13	0.1	▲16	為替差損: ▲6百万円、賃貸収入原価: ▲5百万円、 支払利息: ▲2百万円、
経常利益	154	1.2	514	3.9	+359	
特別利益	93	0.7	0	0.0	▲93	THAI LECIPの固定資産売却益: ▲47百万円、 賃貸不動産の中途解約違約金: ▲37百万円
特別損失	4	0.0	76	0.6	+71	為替換算調整勘定取崩し: +50百万円、 関係会社出資金評価損: +16百万円
税金等調整前純利益	243	1.9	438	3.4	+195	
法人税等合計	196	1.6	305	2.3	+109	法人税率引き下げに伴う繰延税金資産取崩し等の影響額 : +28百万円
当期純利益	46	0.4	132	1.0	+86	

連結貸借対照表の主な増減項目

【連結B/S】	2011年3月期 期 末		2012年3月期 期 末			
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	6,918	71.3	8,023	77.5	+1,104	売上債権 : +614百万円、 繰延税金資産 : +139百万円、 手形債権信託受益権 : +119百万円、 棚卸資産 : +110百万円
固定資産	2,779	28.7	2,323	22.5	▲456	有形固定資産 : ▲76百万円、 無形固定資産 : 0百万円、 投資その他の資産 : ▲379百万円
資産合計	9,698	100.0	10,347	100.0	+648	
流動負債	3,485	35.9	4,560	44.1	+1,075	仕入債務 : +726百万円、 1年内返済予定長期借入金 : +236百万円
固定負債	937	9.7	477	4.6	▲459	長期借入金 : ▲434百万円
負債合計	4,422	45.6	5,038	48.7	+615	
純資産合計	5,275	54.4	5,308	51.3	+32	
負債・純資産合計	9,698	100.0	10,347	100.0	+648	

- 1. 2012年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 2~P17
- ▶ 2. 2013年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19~P21
- 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23~P32

■ 【ご参考資料】:P34~P42

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

業績予想のポイント

■ 売上高:増収予想

- バス用運賃箱の増加
- 乗客情報システム(PIS)関連の拡販
- 海外市場での受注活動を一層強化
- LED関連製品の拡販



市民体育館前				四軒家西口			
1	2	3	4	↓四軒家			
2030	1030	980	930	↓本地ヶ原			
5	6	7	8	瀬戸駅前			
880	830	780	730				
9	10	11	12				
680							

CHANGI AIRPORT IS NO.1
CHANGI AIRPORT 333



■ 営業利益・経常利益:減益予想

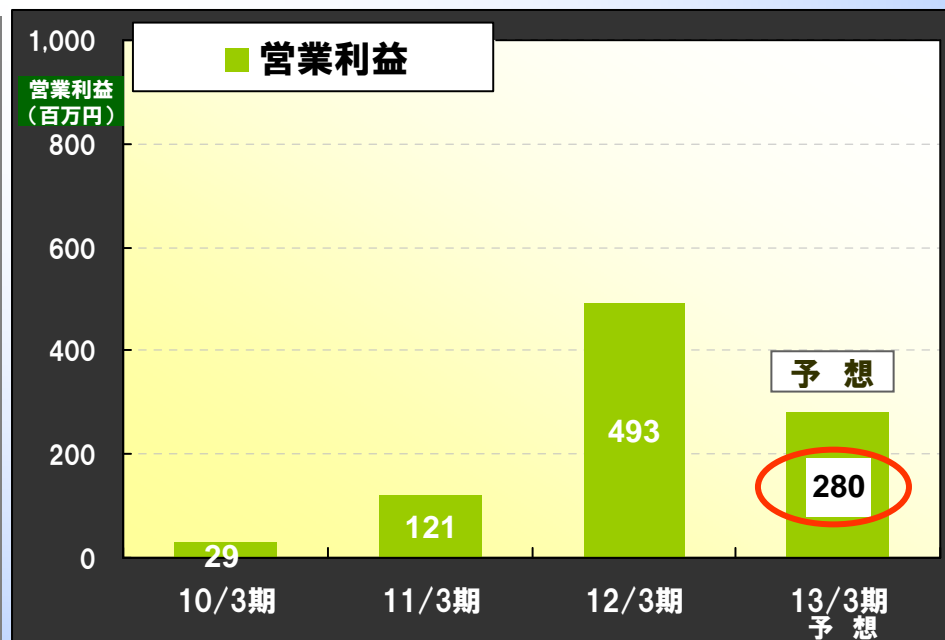
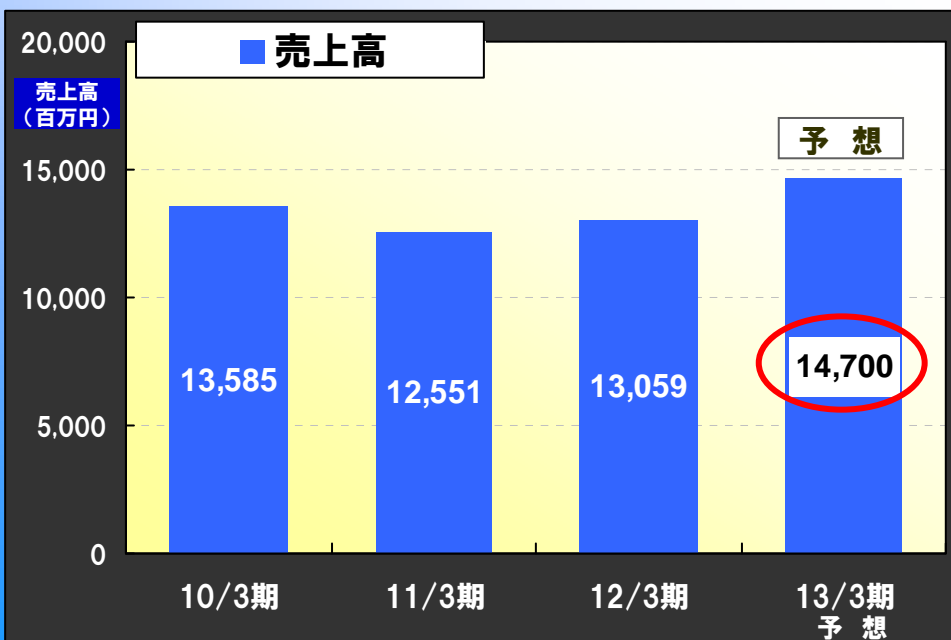
- 将来の成長に向けた戦略投資等、経費の増加など

■ 当期純利益:増益予想

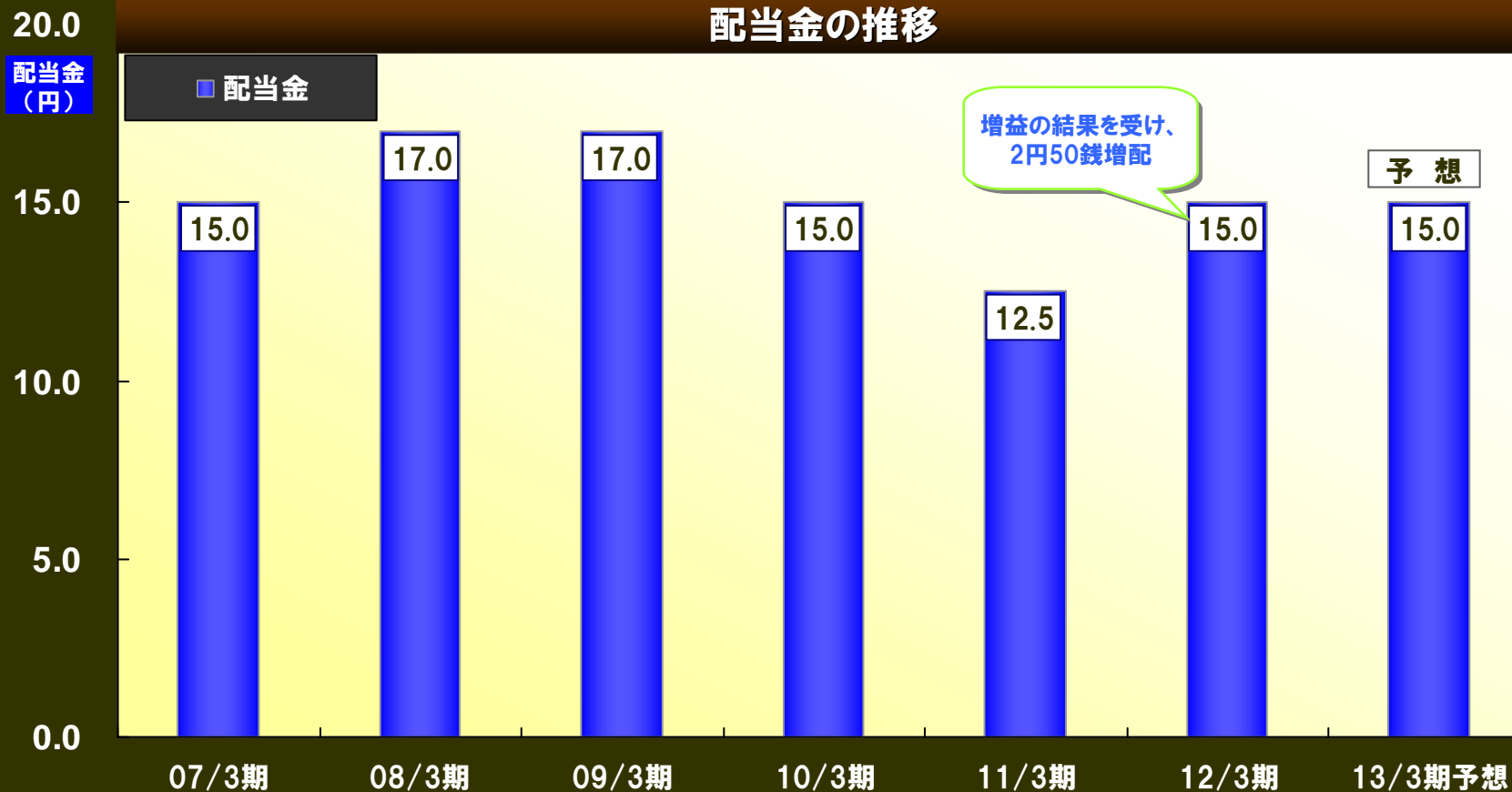
- 前年にあった海外子会社の清算に係わる特別損失や、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩し等の影響が無くなる

2013年3月期 業績見通し

連結業績予想	2012年3月期 実績 (百万円)	構成比 (%)	2013年3月期 業績予想 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	13,059	100.0%	14,700	100.0%	+1,640	+12.6%
営業利益	493	3.8%	280	1.9%	▲213	▲43.2%
経常利益	514	3.9%	300	2.0%	▲214	▲41.7%
当期純利益	132	1.0%	140	1.0%	+7	+5.3%
E P S (円)	20円80銭	—	21円91銭	—	+1円11銭	+5.3%



配当金の推移



- 2012年3月期の配当は、**2円50銭の増配**となる**15円00銭**
- 2013年3月期の配当予想も、引き続き、**15円00銭を維持**
- 継続的かつ安定的な利益還元に努める

- 1. 2012年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 2～P17
- 2. 2013年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19～P21
- ▶ 3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23～P32

■ 【ご参考資料】:P34～P42

- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 上期・下期別の業績推移
- 四半期別の業績推移

—2010年度～2012年度:中期経営計画—

【 CE2012 】

CE = Comfortable Everyday 「快適な日常」

【経営理念】

「省エネルギー」「地球環境対応」「セキュリティ強化」を通じて、
快適な日常を実現するための製品・サービスを社会に提供する。

【重点課題】

- 新商品開拓への力強い熱意
- 五つの総ての市場での海外展開
- コスト競争力の強化

【2012年度の重点施策】

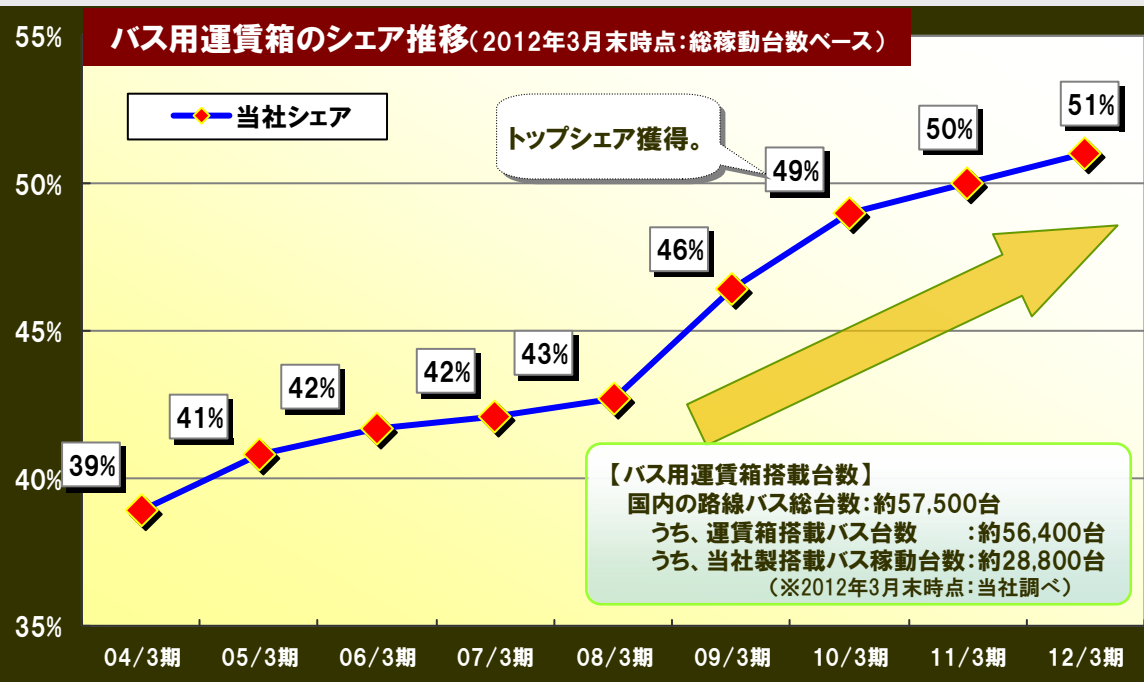
■ 国内外におけるAFC(Automated Fare Collection System:自動運賃収受システム)の
シェアアップ

■ PIS(Passenger Information System:乗客運行情報伝達システム)事業を
AFC事業と並ぶ二つ目の柱とする

■ LED商品の拡販

■ 海外市場での、確実な売上の確保

AFC(自動運賃収受システム)のシェアアップ



- 2010年3月期に、シェア逆転し、トップシェア獲得。引き続き、拡大続く

➡ 2012年3月期末時点のシェア:51%

- 運賃箱の薄型化と、高額紙幣への対応を実現。得意とするICカードシステムの普及拡大も追い風

- 車載機器中心のメーカーから「自動運賃収受総合システム会社」へ脱皮し、売上の拡大を図る

➡ 後方の精算システムや、乗客の乗降実態分析システム等を包括したトータル・システムの提供に注力

PIS(乗客情報システム)事業の推進

● バス車内で



【表示例】



多くの有益な情報をリアルタイムで配信

- ▶ バス接近表示情報
- ▶ 乗換・接続の案内
- ▶ 周辺施設の案内
- ▶ 遅延・運休情報
- ▶ ニュース・CM
- ▶ 緊急情報
(事故、火災、地震、気象)
- ▶ 災害情報
(避難指示、安全、消息情報)

● 駅・バスターミナル・バス停 等で

大型液晶type

BSD-05-01
46インチ液晶使用



PIS事業の推進

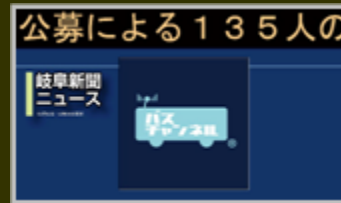
● バス車内・バスターミナルでの多言語表示事例



路線バスにおけるデジタルサイネージ「バスチャンネル」事業の推進



▶ 表示例



- 路線バスにおける「デジタルサイネージ事業」に参入
 - ▶ バス車内の液晶表示器で、動画広告・ニュース・天気予報等を表示
- 表示内容のリアルタイム更新が可能
 - ▶ 路線や時間帯、客層に合わせた効果的な情報配信も可能に
- 岐阜地区に続き、関東地区・関西地区のバス事業者様に、ご採用いただく
 - ▶ 地域密着型の新たな情報配信サービスとして、全国展開を進めていく



ニュース



CM



地域情報



天気予報



緊急情報

バスロケーションシステムの推進

● 乗客向け運行情報配信サービスの充実

【パソコン・スマートフォン・携帯電話で】



ITUKUL

お知らせ
31日から31日まで、お正月ダイヤで運行

乗車地: 一宮から選択

降車地: 一宮から選択

今すぐ検索

日時を指定する
2012年 1月 24日 15時 40分
日時を指定して検索

乗車停留所: 県庁前
↓ 宇都宮駅
乗日: 今日
乗時刻: 今から
補1 10:09発
当路線: J R宇都宮駅
着予定時刻: 10:34
りば: 0

始発
↓ 二葉山神社下
↓ 梵光寺前
↓ 県庁東
↓ 乗車停留所
↓ 降車停留所
運行状況: 定刻



パケット通信網
インターネット

【バス事業者様】



【バス停・バスターミナルで】



【バス車内で】

レシップ前 乗り換え案内

現在時刻 16:35 >>> 到着予定 16:50

行先	発車時刻
本線 特急 東京	17:00
岐阜 普通 岐阜	17:03
名古屋 快速 名古屋	17:15

だいま本線は約15分

バスロケーションシステムの推進

- **バス事業者様向けサービスの充実に向けて** ～ソリューションビジネスの強化～

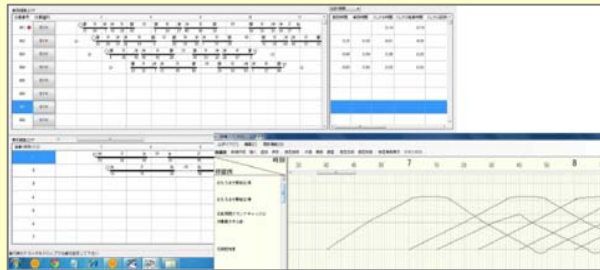
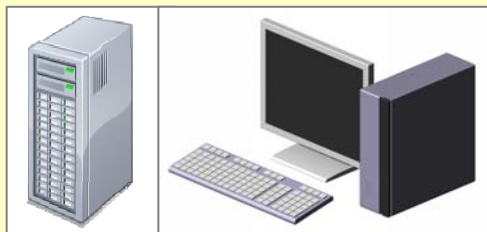
バス運行管理データ



運賃収受データ・乗降データ



様々なデータの集約・一元化・分析により、効率的な運行管理をサポート。
バス事業者様の経営課題の解決に貢献するトータルシステムの実現に向けて。



LED商品の拡販

● LED電源と蛍光灯型LED灯具



● 車載用LED灯具



- **節電・省エネ意識の高まりから、照明分野におけるLEDの採用が活発化**
 - ▶ 店舗やオフィス等の屋内照明や屋外看板、バス停などの屋外照明、バス・鉄道・自動車の車載照明の分野で、LED関連ビジネスを展開
- **当社製品の強みは、優れた「耐久性」**
 - ▶ 長年の、屋外向け、車載向け等、厳しい使用環境向けの製品開発を通じ、多くのノウハウを蓄積
- **長寿命のLEDでは、製品の「耐久性」もポイント**
 - ▶ 優位性を活かした、高品質の製品開発と拡販戦略を推進

海外市場展開の強化

● アジア市場 (シンガポール・香港等)



HONGKONG
ICカードリーダー
(香港向け)

SINGAPORE



バス用LED式行先表示器
(シンガポール向け)



バス用発券機
(シンガポール向け)

● 北米市場 (米国・カナダ)



バス用運賃箱
(北米向け)



バス用発券機
(カナダ向け)



NORTH AMERICA



鉄道用LED灯具(米国向け)

● バス市場向け製品一

アジア(シンガポール・香港等)市場での販売強化と、北米(米国・カナダ)市場の開拓に注力

- ▶ シンガポールのバス用LED式行先表示器、料金箱、発券機等を納入
- ▶ カナダのバス用乗り継ぎ発券機の受注に成功し、納入
- ▶ 複数の北米AFC(自動運賃収受システム)案件に応札

● 鉄道市場向け製品一

海外の鉄道車両用灯具の受注活動と、製品開発を推進

- ▶ 受注拡大続く日本の車両メーカー様と、現地事業者様へのアプローチ継続
- ▶ 米国の鉄道車両用LED灯具の受注に成功し、納入
- ▶ ニューヨーク市交通局様の地下鉄車両で試験搭載実施中



海外市場展開の強化

● 北米バス市場向け運賃箱の開発



- 現地のニーズに即した北米市場向け製品を開発
 - ▶ ドル紙幣・クレジットカード決済への対応
- 国内向け製品の開発で培った高度な技術力を武器に、現地メーカーとの差別化を図る
 - ▶ 処理スピードが速い運賃自動計数機能や、視認性の高いカラー液晶表示機能を搭載
- 海外市場展開を加速させることによって、着実な成長を図る

1. 2012年3月期 業績概要・主な項目の進捗状況:P 2～P17
2. 2013年3月期 通期業績予想・配当の状況:P19～P21
3. 中長期的な成長に向けた取り組み:P23～P32

- ▶ 【ご参考資料】:P34～P42
- 会社概要・事業内容・主なトップシェア製品
 - 主な経営指標の推移
 - 年間業績の推移
 - 上期・下期別の業績推移
 - 四半期別の業績推移

会社名	: レシップホールディングス株式会社 (LECIP HOLDINGS CORPORATION)
設立	: 1953年3月
代表者	: 代表取締役社長 杉本 眞
本社所在地	: 岐阜県本巣市上保1260番地の2
連結従業員数	: 429名
資本金	: 7億3,564万円
発行済株式総数	: 6,399,100株
上場証券取引所	: 東京証券取引所市場第2部、名古屋証券取引所市場第2部
証券コード	: 7213
連結子会社	: レシップ株式会社 : レシップエスエルピー株式会社 : レシップ電子株式会社 : レシップインターナショナル株式会社 : レシップエンジニアリング株式会社 : LECIP INC. : LECIP U.S.A.,INC.

■ 輸送機器事業

■ S&D(サイン&ディスプレイ)事業

■ 産業機器事業

【ご参考】2012年3月期 通期の事業セグメント別売上高

12/3期 連結売上高:13,059百万円

【産業機器事業】
充電器、無停電電源装置、
物販共用読み取り端末、
プリント基板実装



【S&D事業】
LED電源、蛍光灯型LED灯具
ネオン変圧器、
屋外用電子安定器、CCL



3,796百万円
29.1%

1,183百万円
9.1%

44百万円
0.3%

8,035百万円
61.5%

■ 輸送機器
■ S & D
■ 産業機器
■ その他

【輸送機器事業】
バス・鉄道用運賃箱、
ICカードシステム、
OBC(液晶表示器)、
LED式行先表示機器、
車載用照明機器



市民体育館前				四軒家西口			
1	2	3	4	5	6	7	8
2030	1030	980	930	880	830	780	730
9	10	11	12	瀬戸駅前			
680							

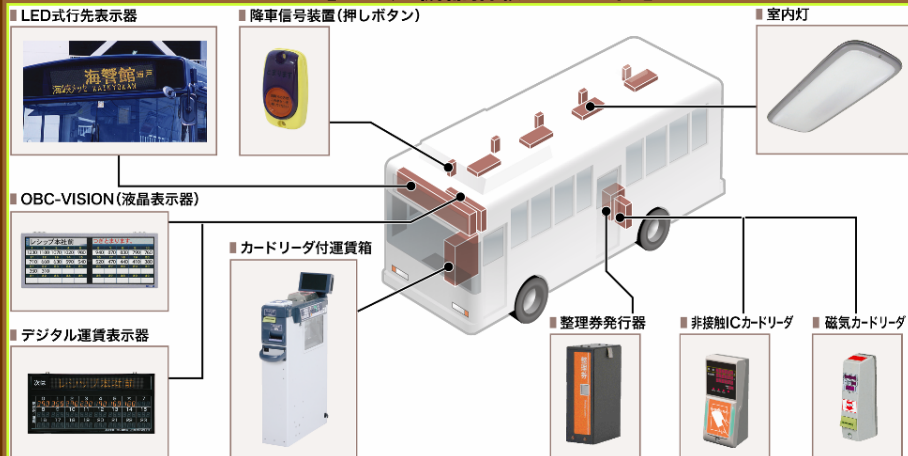
輸送機器事業

● バス市場向け製品



- 国内唯一の、「バス用電装機器トータルサプライヤー」ワンストップソリューションを実現
- バス用ICカードシステムのパイオニア
- 多くの製品で国内トップシェアを獲得

=====【バス用機器搭載イメージ図】=====



● 鉄道市場向け製品



- ワンマン鉄道用機器と、車両用照明灯具を展開
- 鉄道用ワンマン機器は、国内90%以上のシェアを獲得

● 自動車市場向け製品



- 自動車用蛍光灯具のパイオニア、国内トップシェアを獲得
- LED灯具の拡販推進

S&D事業



LED電源と蛍光灯型LED灯具



ネオン変圧器



CCLのご採用事例 東京・銀座 横浜・みなとみらい CCL(Cold Cathode Lamp)

- 不採算が続いていたネオン変圧器事業の再編
- LED電源、蛍光灯型LED灯具の拡販推進
- 建築・施設照明向けライティングシステム・CCLを展開

産業機器事業



フォークリフト用充電器



物販共用読み取り端末



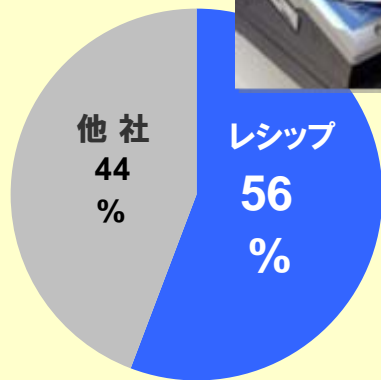
プリント基板実装ライン



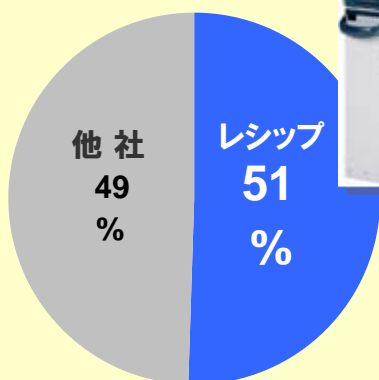
- フォークリフト用充電器で国内トップシェアを獲得
- 複数規格の電子マネーに対応する物販共用読み取り端末の開発・製造
- 連結子会社 レシップ電子において、プリント基板実装事業を展開

【ご参考】: 主なトップシェア製品

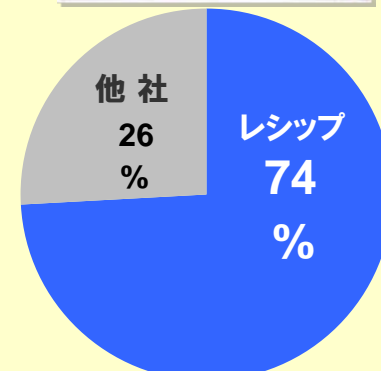
バス用ICカードシステム



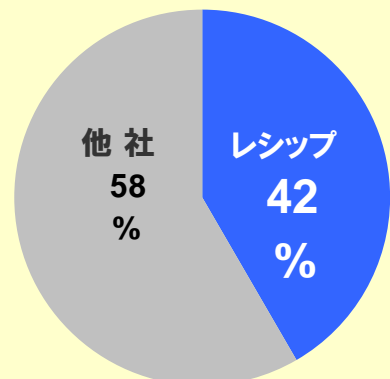
バス用運賃箱



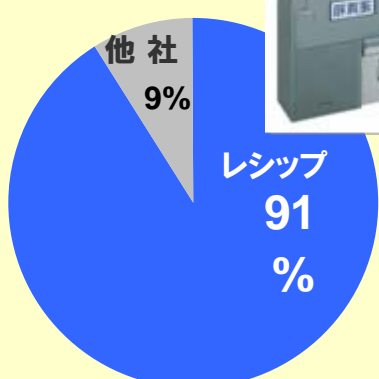
バス用液晶表示器



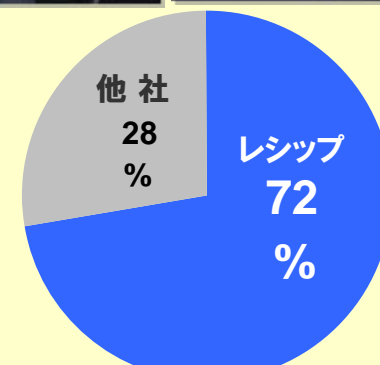
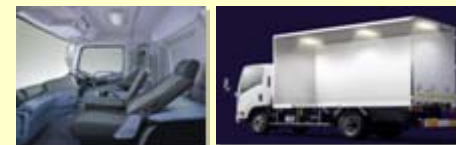
バス用LED式行先表示器



ワンマン鉄道用運賃箱



トラック用灯具



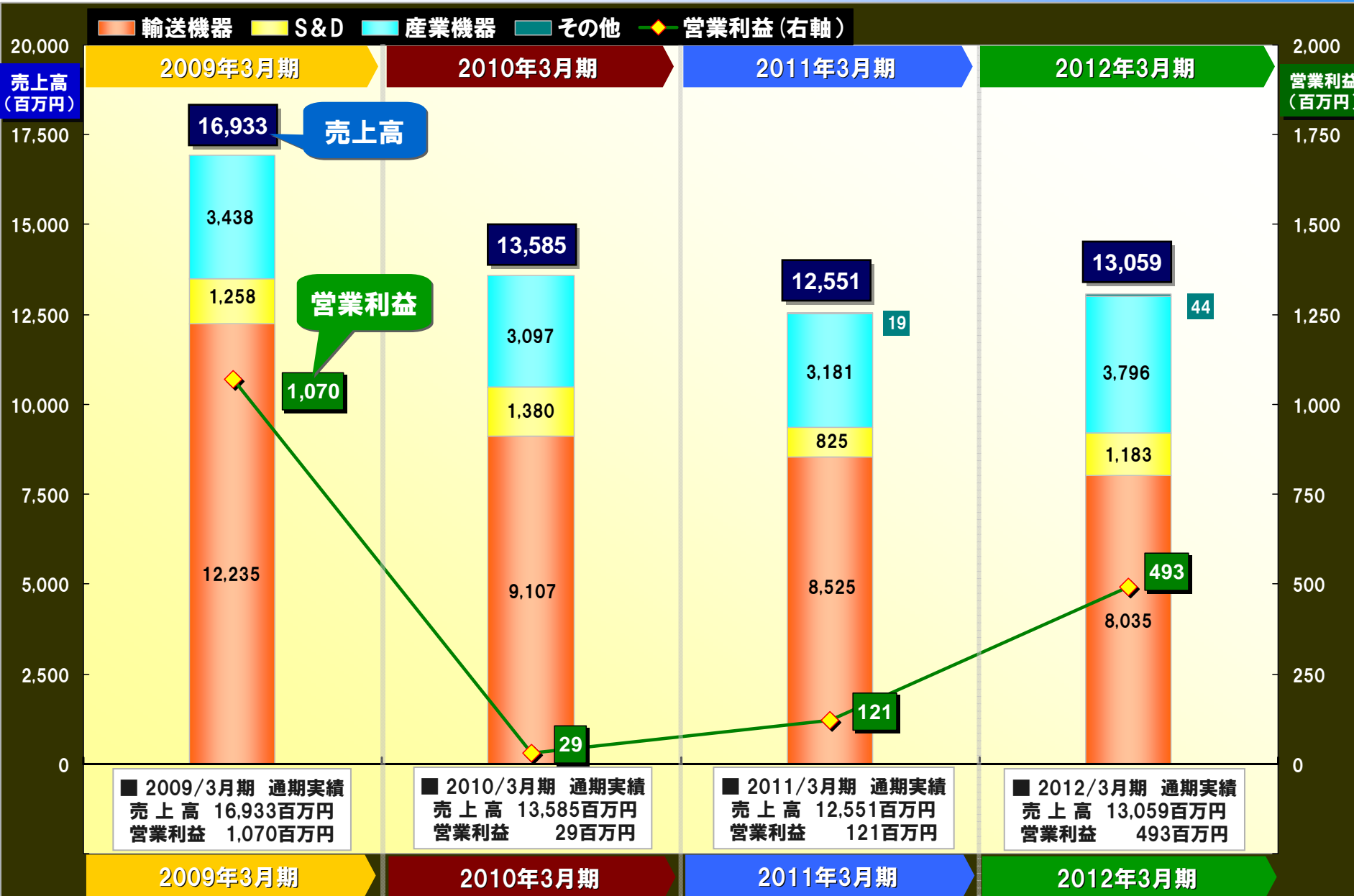
【ご参考】: 主な経営指標の推移

(単位: 百万円)

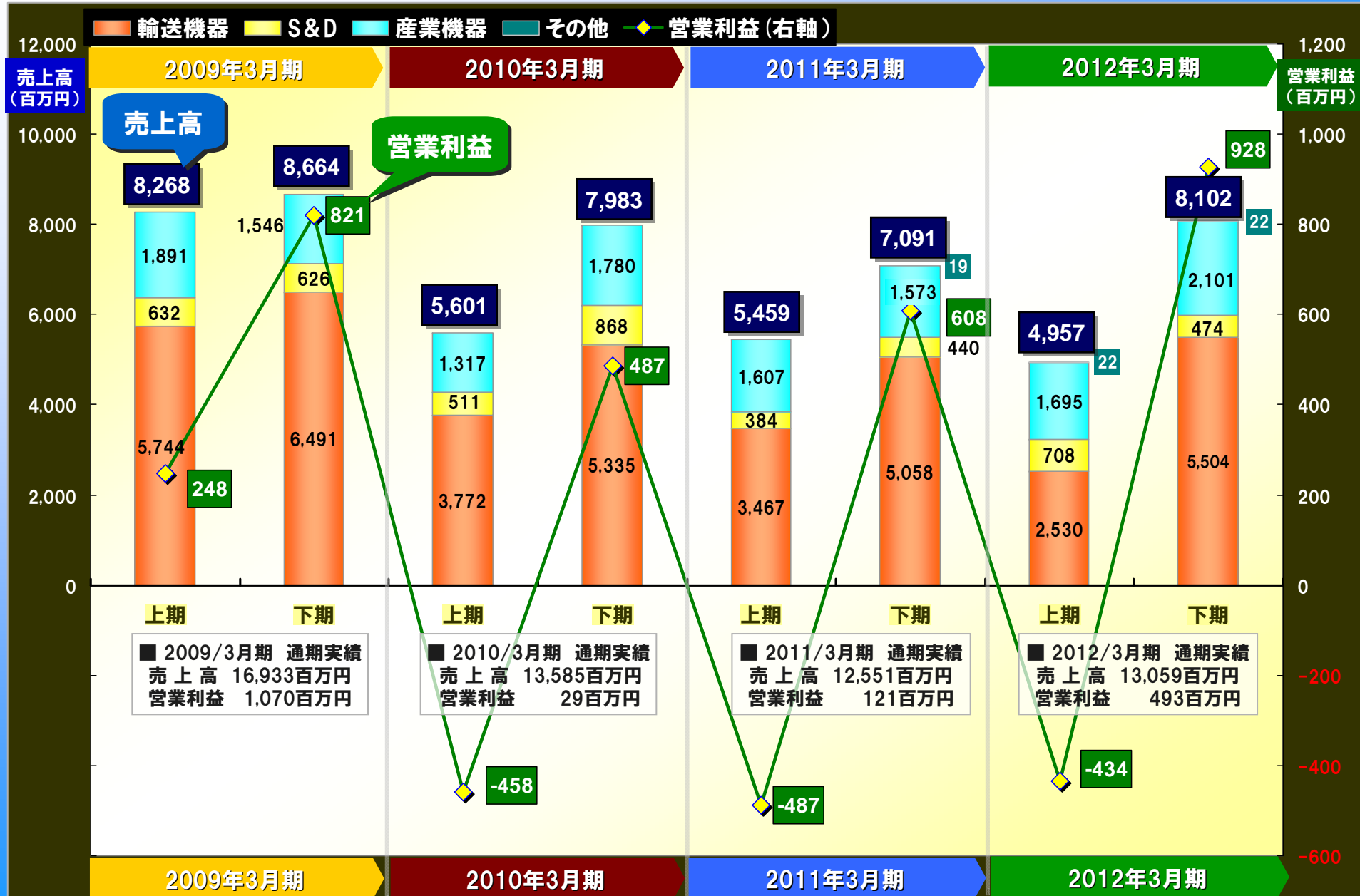
主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期 予想
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	14,700
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	280
営業利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.7	6.3	0.2	1.0	3.8	1.9
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	300
経常利益率(%)	2.5	6.9	6.3	6.8	6.5	6.5	0.5	1.2	3.9	2.0
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	140
当期純利益率(%)	▲0.6	4.0	3.6	3.8	3.7	3.1	0.3	0.4	1.0	1.0
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	—
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	—
自己資本比率(%)	18.4	23.9	37.1	38.2	43.5	51.2	50.3	54.4	51.3	—
EPS(円)	▲18.05	107.70	96.29	104.68	107.38	81.61	6.55	7.34	20.80	21.91
ROE(%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	—
BPS(円)	338.36	441.66	599.65	689.82	781.66	835.49	827.65	825.60	830.76	—

※2004年3月期につきましては、退職給付制度改革を実施し、確定拠出年金制度への全面移行に伴い、退職給付制度変更損失:397百万円を計上したため、当期純損失となっております。

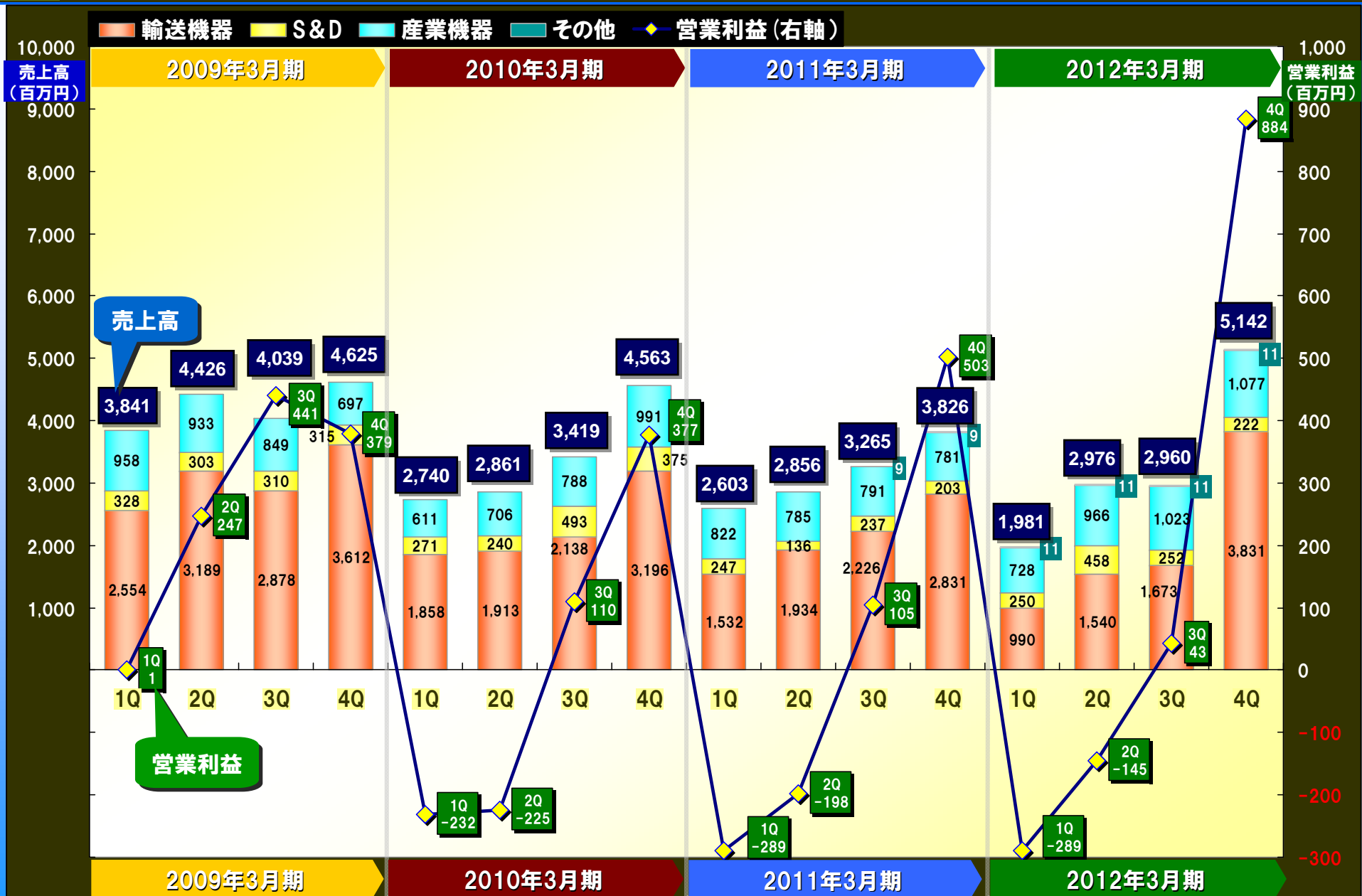
【ご参考】:年間業績の推移



【ご参考】: 上期・下期別の業績推移



【ご参考】: 四半期別の業績推移



LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】

IR担当役員：常務取締役 山口 芳典

電話番号：(058)323-7647

IR担当者：人事総務部兼経営管理部 野村 武史

電話番号：(058)324-3121

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。